

小 平 市

**高 齢 者 生 活 状 況 ア ン ケ ー ト
介 護 保 険 サ ー ビ ス 利 用 状 況 実 態 調 査**

報 告 書

平成 2 3 年 3 月

小 平 市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的と方法	1
2 調査結果の概要	3
第2章 高齢者生活状況アンケート	
調査票の記入者	7
1 ご本人について	8
(1) 性別	8
(2) 年齢	9
(3) 住まいの地域	10
(4) 要介護認定の有無	11
(5) 世帯構成	12
(6) 1か月の収入	13
2 医療・健康について	14
(1) 健康状態	14
(2) 医療機関の受診状況	14
(3) かかりつけ医のいる医療機関	15
(4) 通院や医療に関して困っていること	16
(5) 食生活について気をつけていること	17
(6) 定期的な運動の有無	18
(7) 定期的に運動をしていない理由	19
(8) 介護予防事業への参加意向	20
3 日常生活について	21
(1) 日常生活で困っていること	21
(2) 日中独居・夜間独居の有無	24
(3) 緊急時の連絡先	25
(4) 住まいの種類	26
(5) 住まいについて困っていること	28
4 相談・権利擁護について	30
(1) 福祉情報の入手方法	30
(2) 見守りや声かけの希望	31
(3) 地域包括支援センター・権利擁護センターこだいらの認知度	33
(4) 福祉に関する相談の意向	34
(5) 介護が必要になったときの金銭等の管理について	35
(6) 成年後見制度等の利用意向	36

5	外出・社会参加について	37
	(1) 外出の頻度	37
	(2) 外出の目的	38
	(3) 外出の際の主な交通手段	40
	(4) 近所づきあいの程度	41
	(5) 家族・親族以外との関わり	42
	(6) 就労の有無	43
	(7) 社会活動への参加状況	44
	(8) 社会活動への参加意向	45
	(9) ボランティアセンターの認知度	46
6	介護保険制度について	47
	(1) 介護保険制度への評価	47
	(2) 介護保険料の負担感	48
	(3) 介護保険料とサービス水準の関係	49
7	今後の生活について	50
	(1) 介護が必要になったときの希望	50
	(2) 自宅で生活したい理由	52
	(3) 施設などに入りたい理由	53
	(4) 自宅で暮らし続けるための課題	54
	(5) 重要と思う高齢者福祉の取り組み	55
8	自由意見	56

第3章 介護保険サービス利用状況実態調査 61

	調査票の記入者	61
1	ご本人について	62
	(1) 性別	62
	(2) 年齢	62
	(3) 要支援・要介護認定	63
	(4) 1か月の収入	64
2	住まいについて	65
	(1) 住まいの種類	65
	(2) 住まいの地域	66
3	ご家族や介護者について（在宅者）	68
	(1) 世帯構成	68
	(2) 日中独居・夜間独居の有無	71
	(3) 普段の介護者	72
	(4) 介護者（家族・親族）の性別	74

(5) 介護者（家族・親族）の年齢	75
(6) 介護者（家族・親族）が困っていること	76
(7) 必要な介護者支援	78
4 サービス利用の有無について（在宅者）	79
(1) サービス利用の有無	79
(2) サービスを利用していない理由	81
5 ケアプラン作成について（在宅者）	82
(1) ケアプラン作成依頼の有無	82
(2) ケアプラン作成事業者選択の方法	83
(3) ケアマネジャーの対応への満足度	84
(4) ケアマネジャーへの希望	85
6 居宅サービスについて（在宅者）	86
(1) 訪問系サービス	86
(2) 通所系サービス	87
(3) その他の居宅サービス	88
(4) サービス利用に関して困ったこと	90
(5) 不満や苦情を伝えた相手	92
(6) 不満や苦情を伝えたことによる改善状況	93
(7) サービス利用による心身状況の変化	94
7 利用者負担について（在宅者）	95
(1) 利用限度額に対する利用割合	95
(2) 利用限度額まで利用しない理由	97
(3) 利用者負担に対する感じ方	98
8 今後の利用意向について（在宅者）	101
(1) 今後新たに利用したいサービス	101
(2) 地域密着型サービスの利用意向	103
(3) サービス事業者に希望すること	104
9 施設サービス等について（施設等入所者）	105
(1) 入所施設等の種類	105
(2) 居室の種類	106
(3) 個室の利用希望	106
(4) 施設でのサービス内容について	107
(5) 施設での生活で困っていること	108
(6) 施設利用料の負担感	109
(7) 在宅生活に戻る場合の課題	110
10 自由意見	111

第 1 章

調査の概要

1 調査の目的と方法

(1) 高齢者生活状況アンケート

①調査目的

この調査は、平成 23 年度に策定が予定されている『小平市高齢者保健福祉計画・小平市介護保険事業計画』の基礎資料とするため、高齢者の生活状況や支援サービスの利用意向等を把握するために実施しました。

②調査対象

平成 22 年 12 月 1 日時点において、市内に居住している 65 歳以上の高齢者 36,913 人の中から、3,500 人を抽出しました。(抽出率 9.5%)

抽出は、住民基本台帳及び外国人登録より無作為に行いました。

③調査方法

配布・回収とも郵送で行いました。(回答は無記名)

④調査期間

平成 23 年 1 月 7 日から 1 月 31 日

(ただし、2 月 16 日までに調査票が返送されたものは集計に加えています)

⑤配布・回収状況

配布数	回収数	白票 無効票	有効回収数	有効回収率
3,500	2,365	2	2,363	67.5%

(2) 介護保険サービス利用状況実態調査

①調査目的

この調査は、要支援・要介護認定を受けた方のサービス利用実態、満足度、意向等を把握し、今後の介護保険サービスの基盤整備、需要と供給の適正化、新たな施策の対応等、制度運営の充実に資することを目的に実施しました。

②調査対象

平成 22 年 12 月 1 日時点において、要支援・要介護認定を受けている方（施設入所者を含む）5,696 人の中から、2,900 人を抽出しました。（抽出率 50.9%）

③調査方法

配布・回収とも郵送で行いました。（回答は無記名）

④調査期間

平成 23 年 1 月 7 日から 1 月 31 日

（ただし、2 月 16 日までに調査票が返送されたものは集計に加えています）

⑤配布・回収状況

配布数	回収数	白票 無効票	有効回収数	有効回収率
2,900	1,884	5	1,879	64.8%

◆ 調査結果の見方について

- ① 表では、特別の表記がない限り、上段が実数、下段が%（小数点以下第 1 位まで）を表示しています。
- ② 集計した数値（%）は小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位まで表示しています。このため、単数回答の場合、選択肢の数値（%）を全て合計しても、100.0%にならない場合があります。
- ③ 回答者数を分母として割合（%）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100%を越えます。
- ④ 回答結果を見やすくするため、グラフでは無回答など一部の項目を省略している場合があります。

2 調査結果の概要

(1) 高齢者生活状況アンケート

問3 年齢 ～ 75歳以上の方は約2割 <9ページ参照>

「65～69歳」が46.4%と最も多く、次いで「70～74歳」が31.6%、「75～79歳」が11.4%、「80～84歳」が5.6%、「85歳以上」が4.2%となっています。75歳以上の方は、約2割となっています。

問6 世帯構成 ～ ひとり暮らしは1割あまり、65歳以上だけの世帯は6割弱

<12ページ参照>

「夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳以上）」が39.5%と最も多く、次いで「その他の家族が同居（65歳未満の方も同居）」が32.6%、「ひとり暮らし」が14.6%となっています。

問8 健康状態 ～ 「特に病気や障がいはない」が最も多い

<14ページ参照>

「特に病気や障がいはない」が53.7%と最も多く、次いで「病気や障がいがあるが、身のまわりのことは大体自分でできる」が41.3%、「病気や障がいがあり、身のまわりのことに手助けが必要である」が3.0%となっています。

問16 日常生活で困っていること ～ 「将来のこと」が最も多い

<21ページ参照>

「将来のこと」が18.5%と最も多く、次いで「身体健康状態」が14.0%、「急病など緊急時のこと」が12.1%、「収入や生計のこと」が11.7%となっています。

問17 日中独居・夜間独居の有無 ～ 日中独居は約3割 <24ページ参照>

「日中も夜間も一人であることが多い」が14.9%、「日中は一人であることが多い（夜間は家族がいる）」が17.1%、「日中も夜間も家族がいることが多い」は60.4%となっています。

問22 見守りや声かけの希望 ～ 「緊急通報システムによる見守り」が最も多い

<31ページ参照>

「緊急通報システムによる見守り」が18.5%と最も多く、次いで「近所の人や地域のボランティアによる見守り」が9.4%、「電話訪問」が5.8%、「地域包括支援センター職員による見守り」が5.3%となっています。

問 30 近所づきあいの程度 ～ 「あいさつをする程度」が最も多い

＜41 ページ参照＞

「あいさつをする程度のつきあいが多い」が 32.5%と最も多く、次いで「立ち話をする程度のつきあいが多い」が 31.9%、「家に行き来するなど、親しくつきあっている人がいる」が 21.2%となっています。「近所づきあいはほとんどない」は 7.5%でした。

問 36 介護保険制度への評価

＜47 ページ参照＞

～ 「評価している」は約 7 割、「評価していない」は 2 割あまり

「ある程度評価している」が 56.2%と最も多く、次いで「あまり評価していない」が 20.1%、「高く評価している」が 12.4%、「全く評価していない」が 3.8%となっています。評価しているという回答が約 7 割でした。

問 37 介護保険料の負担感 ～ 「このくらいの負担はやむを得ない」が最も多い

＜48 ページ参照＞

「このくらいの負担はやむを得ない」が 44.9%と最も多く、次いで「今の負担では苦しい」が 30.1%、「おおむね妥当である」が 7.2%となっています。

問 38 介護保険料とサービス水準の関係

＜49 ページ参照＞

～ 「ほどほどの保険料である程度のサービス」が最も多い

「ほどほどの介護保険料で、ある程度の介護サービスが受けられれば良い」が 57.8%と最も多く、次いで「介護保険料が多少高くても、介護サービスが充実しているほうが良い」が 20.9%、「介護サービスを多少おさえても、介護保険料が安いほうが良い」が 14.2%となっています。

問 39 介護が必要になったときの希望 ～ 「自宅で介護」が約半数

＜50 ページ参照＞

「自宅で介護を受けたい（主に、ホームヘルプなどの訪問系サービスを利用）」が 20.1%と最も多く、次いで「自宅で介護を受けたい（主に、家族の介護）」が 19.6%、「施設等に入所したい（特別養護老人ホームに入所したい）」が 12.2%、「自宅で介護を受けたい（主に、デイサービスなどの通所系サービスを利用）」が 10.8%となっています。自宅で介護を受けたいという回答は合わせて約半数、施設等に入所したいという回答は合わせて 2 割あまりでした。

問 43 重要と思う高齢者福祉の取り組み

＜55 ページ参照＞

～ 「趣味や生きがいづくり、余暇活動の支援」が最も多い

「趣味や生きがいづくり、余暇活動の支援」が 51.4%と最も多く、次いで「健康づくりや介護予防のための支援」が 37.0%、「働く機会や場の確保」が 33.1%、「入所施設の整備（特別養護老人ホームなど）」が 33.0%、「高齢者が外出しやすい公共施設・交通機関の整備」が 32.3%となっています。

(2) 介護保険サービス利用状況実態調査

問3 年齢 ～ 「85歳以上」が約4割 <62ページ参照>
「85歳以上」が41.6%と最も多く、次いで「80～84歳」が22.5%、「75～79歳」が17.1%となっています。75歳以上の方は、約8割となっています。

問4 要支援・要介護認定 ～ 「要介護2」が最も多い <63ページ参照>
「要介護2」が17.7%と最も多く、次いで「要支援2」が16.1%、「要支援1」が14.3%、「要介護1」が13.8%となっています。要支援の方は約3割、要介護の方は7割弱となっています。

問8 世帯構成 ～ ひとり暮らしは3割弱、65歳以上だけの世帯は約6割 <68ページ参照>
「その他の家族が同居（65歳未満の方も同居）」が35.6%と最も多く、次いで「夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳以上）」が28.1%、「ひとり暮らし」が25.2%となっています。

問9 日中独居・夜間独居の有無 ～ 日中独居は4割あまり <71ページ参照>
「日中も夜間も一人であることが多い」が24.3%、「日中は一人であることが多い（夜間は家族がいる）」が18.0%、「日中も夜間も家族がいることが多い」は50.9%となっています。

問13 介護者（家族・親族）が困っていること <76ページ参照>
～ 「介護者自身の健康に不安」が最も多い
「介護者自身の健康に不安がある」が51.4%と最も多く、次いで「緊急時の対応に不安がある」が45.2%、「精神的につらい」が39.2%、「代わりを頼める人がいない」が36.7%、「体力的につらい」が35.6%となっています。

問15 サービス利用の有無 ～ 利用しているのは6割あまり <79ページ参照>
「利用している」が63.0%、「利用していない」が32.1%となっています。

問16 サービスを利用していない理由 <81ページ参照>
～ 「まだ利用するほどでもない」が最も多い
「特にまだサービスを利用するほどでもないから」が43.8%と最も多く、次いで「家族などに介護してもらっているから」が36.1%、「病気で入院中だから」が10.2%、「利用したいが、サービスの利用方法がわからないから」が8.2%となっています。

問21 サービスの利用状況 <86ページ参照>
～ 「訪問介護」、「通所介護」、「福祉用具の貸与」などが多い
サービス利用が多いサービスとしては、「訪問介護（ホームヘルプ）」が43.9%、「通所介護（デイサービス）」が47.1%、「福祉用具の貸与」が40.9%などとなっています。

問 22 サービス利用に関して困ったこと <90 ページ参照>

～ 「回数や時間が足りない」が最も多い

「利用できる回数や時間が足りない」が 14.3%と最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が 10.2%、「利用料の負担が大きい」が 8.9%、「利用したいサービスを利用できない」が 7.8%となっています。「困ったことはない」という回答は、35.5%でした。

問 26 利用限度額に対する利用割合 ～ 「ほぼ限度額まで」が最も多い <95 ページ参照>

「ほぼ利用限度額まで利用している」が 26.3%と最も多く、次いで「利用限度額よりかなり少ない」が 18.6%、「利用限度額の半分程度まで利用している」が 15.0%となっています。「利用限度額を超えて利用している」は 5.2%でした。

問 28 利用者負担に対する感じ方 <98 ページ参照>

～ 「このくらいの負担はやむを得ない」が最も多い

「このくらいの負担はやむを得ない」が 52.0%と最も多く、次いで「あまり負担に思わない」が 20.0%となっています。一方で、「今の負担では苦しい」は 10.3%となっています。

問 29 今後新たに利用したいサービス <101 ページ参照>

～ 「訪問介護」、「通所介護」、「福祉用具の貸与」などが多い

利用意向が多いサービスとしては、「訪問介護（ホームヘルプ）」が 46.3%、「通所介護（デイサービス）」が 39.6%、「福祉用具の貸与」が 40.0%などとなっています。

問 30 地域密着型サービスの利用意向 ～ 「小規模多機能」が最も多い <103 ページ参照>

「小規模多機能型居宅介護」が 24.8%と最も多く、次いで「地域密着型特別養護老人ホーム」が 21.9%、「夜間対応型訪問介護」が 17.2%、「認知症対応型通所介護」が 16.1%、「認知症高齢者グループホーム」が 12.8%となっています。

問 31 サービス事業者に希望すること <104 ページ参照>

～ 「対応が丁寧であること」が最も多い

「対応が丁寧であること」が 55.2%と最も多く、次いで「自分や家族の話をきちんと聞いてくれること」が 54.5%、「ケアマネジャーとの連携がよく取れていること」が 52.7%、「介護技術が確かなこと」が 50.8%となっています。

問 32 入所施設等の種類 ～ 「特別養護老人ホーム」が最も多い <105 ページ参照>

「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）」が 42.4%と最も多く、次いで「有料老人ホーム」が 18.5%、「介護老人保健施設」が 15.6%となっています。

問 38 在宅生活に戻る場合の課題 <110 ページ参照>

～ 「家族だけでは十分な介護が難しい」が最も多い

「家族だけでは十分な介護が難しい」が 67.8%と最も多く、次いで「夜間の介護や見守りに支障がある」が 56.4%、「住まいに支障がある」が 46.8%となっています。